

科 目	国際コミュニケーション(中国語) (Chinese for International Communication)			
担当教員	田島 大輔 非常勤講師			
対象学年等	応用化学科・4年・通年・選択・2単位 (学修単位I)			
学習・教育目標	D2(100%)			
授業の概要と方針	現代中国語(標準語)の発音と基礎的文法を,発音・読解・作文の演習を通じて学習する.受講者の教授内容に対する理解をはかる評価対象として,各回講義内での演習,中間・期末試験に加え,随時課す課外の課題への取り組みも重視する.			
	到達目標	達成度		到達目標別の評価方法と基準
1	【D2】現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を習得する.			現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を講義中の演習(発音練習),課題によって評価する.
2	【D2】現代中国語の漢字(簡体字)の中でも,比較的使用頻度の高いものの書き方を習得する.			現代中国語の漢字(簡体字)の書き方を講義中の演習(短文読解・作文),課題によって評価する.
3	【D2】現代中国語の簡単な文法知識を習得する.			現代中国語の簡単な文法知識を講義中の演習(短文読解・作文),課題,中間試験,定期試験および口頭発表によって評価する.
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
総合評価	成績は,試験60% レポート10% 演習(発音,読解,作文)30% として評価する.試験は中間試験,定期試験の平均点を評価対象とする.レポート(課題)の内容は講義中に指定する(複数回).演習は授業内での口頭発表(暗誦等),筆記課題(小テスト)を課す(複数回).試験・レポート・演習の評価を総合し,100点満点60点以上を合格とする.			
テキスト	竹島金吾(監修),尹景春・竹島毅(著)『中国語 はじめの一步』白水社,2012年			
参考書	松岡榮志(主幹),樋口 靖・白井 啓介・代田 智明(著)『クラウン中日辞典 小型版 CD付き』三省堂,2004年			
関連科目	ドイツ語,韓国語			
履修上の注意事項	現代中国語の学習を通じ,中国の文化・社会に対する関心を深める.受講者には講義の予習・演習・復習への自主的な取り組みが求められる.			

授業計画(国際コミュニケーション(中国語))		
	テーマ	内容(目標・準備など)
1	講義概要の説明,発音練習(1)	本講義の方針・目標・内容・評価方法の説明,および同説明に関する質疑応答などの後,中国語の声調母音(単母音,複母音,n/ngを伴う母音)とアクセント(声調)の発声法,表記法(ピンイン)を学習する。
2	発音練習(2)	中国語の子音の発声法,表記法を学習する。現代中国(中華人民共和国)で公用文字とされている簡略字「簡体字」についても触れる。
3	「是」構文,人称代名詞,指示代名詞	述語動詞「是」(AはBである)を用いた構文,「わたし」「あなた」「それ」「これ」「そこ」「ここ」といった各種代名詞を学習する。
4	動詞述語文,所有を表す「有」構文,疑問文における助字「呢」	動詞を述語とする構文,「AはBを持つ」「AにはBがある／いる」等の意を表せる「有」を用いた構文,および文末に付せられ疑問の意を表す「呢」の用法を学習する。
5	形容詞述語文	形容詞を述語とする構文を学習する。
6	数字,日付時刻の発音・表記法,量詞	数字や日付時刻の発音と表記,および「量詞」(助数詞)の用法を学習する。
7	復習	前回講義までの学習内容について復習する。
8	中間試験	第2回から第7回までの講義での学習内容の習得状況を,筆記試験により確認する。
9	中間試験返却,口頭演習課題の発表	中間試験の問題解説の後,中国語短文暗誦課題の発表を行う。課題用短文は受講者の要望を汲んだ上で告知する。
10	完了を表す「了」,所在を表す「在」,助動詞「想」	述語の後ろに置き「完了」を表す助詞「了」,人・ものが特定の場にあることを表す動詞「在」,および「～したい」の意を表す助動詞「想」の用法を学習する。
11	介詞「在」「离」「从」「到」「跟」「給」	「～で」「～から」「～まで」「～と」「～に」などの意を表す各種介詞の用法を学習する。
12	助動詞「得」,経験を表す「過」,「是～的」構文	「～しなければならない」の意を表す「得」,動詞の後ろに置かれ過去の経験を表す「過」,および強調構文「是～的」の用法を学習する。肯定形・否定形・疑問形・反復疑問文,量詞/助数詞を学ぶ。
13	助動詞「能」「会」,動詞の重ね方	助動詞「会」「能」の用法,同じ動詞を重ねる表現を学習する。
14	総合復習	中間試験以降の講義での学習内容について,復習・確認を行う。
15	総合復習(予備回)	第14回での総合復習,その他についての復習,確認,質問に対する回答。
16	定期試験返却,前期学習内容の復習	定期試験の問題解説の後,前期学習内容について,復習・確認を行う。
17	結果・程度を表す助詞「得」	形容詞・動詞の後に置かれ,結果・程度を表す補語を導く助詞「得」の用法を学習する。
18	動詞の進行を表す「在(～呢)」	「～しているところだ」の意を表す「在(～呢)」の用法を学ぶ。
19	「来」「去」を中心とする連動文	動詞「来(くる)」「去(いく)」を用いた事例を中心に,連動文を学習する。
20	「還是」を用いた選択疑問文,既習各種疑問文の復習	「還是」を用いた選択疑問文(AかBか)の構造を確認後,既習の疑問文についても復習を行う。
21	助詞「比」を用いた比較文	助詞「比」を用いた比較文(AはBにくらべて～)を学習する。
22	復習	第17回講義以降の学習内容について復習する。
23	中間試験	第17回から第21回までの講義での学習内容の習得状況を,筆記試験により確認する。
24	中間試験の解説	中間試験の問題,解答の確認を行い,内容について解説する。
25	「的」を用いた名詞の修飾	「的」を用いた動詞句・形容詞句による名詞の修飾を学習する。
26	1つの動詞が2つの目的語をとる文,主述句を目的語とする文	「AにBを～する」といったような,1つの動詞が2つの目的語をとる文,ならびに主語述語句を目的とする文の用法を学習する。
27	総合復習	中間試験以降の講義での学習内容について,復習・確認を行う。
28	口頭発表の課題作成	受講者が短文暗誦課題を発表する。同課題用作文は受講者の要望を汲んだ上で告知する。
29	口頭発表	通年の授業内最後の課題として,これまでの学習内容を踏まえ,受講者が中国語による口頭発表を行う。
30	総合復習	口頭発表の全体講評の後,第27回の総合復習その他について,復習,確認を行い,質問に回答する。
備考	前期中間試験,前期定期試験および後期中間試験を実施する。後期定期試験に代えて,口頭発表を課す。試験以外に随時課題を課す(複数回を予定)。視聴覚教材による授業を行うこともある。	